

事業評価シート（平成27年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	魅力ある花火大会開催事業		
事業担当	産業振興部 商業観光課		
事業種類	○ハード ●ソフト		
総合計画の位置付け	'04	基本目標4 活力とにぎわいに満ちたまち	
	'02	②〈熟成〉市民の豊かな暮らしに貢献できる産業として成熟させる	
	'02	2 まちのにぎわいづくりに結びつく産業を展開する	
根拠法令等			
対象・受益者	湘南ひらつか花火大会実行委員会	事業期間	
委託・協働	【委託: 3セク・財団 企業 NPO ○その他】【協働: 】		
	目的・目標		事業の概要
市内観光事業への市民参加が広がるとともに、多くの人々が花火大会を訪れ、平塚八景である湘南潮来、平塚砂丘夕映えの名所PRや、市内の観光振興が図られています。		観光振興のため、市民の出資等市民参加による、にぎわいと魅力ある花火大会を開催します。	

2. 事業の検証

活動指標①	指標名	願かけ花火の周知手段数			単位	件
	説明・算定式	ホームページ、広報ひらつか、記者発表、ダイレクトメール、ポスター・チラシ配布				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	5	5	5		
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績					
成果指標①	指標名	観客数			単位	人
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	120,000	150,000	140,000		
成果指標②	指標名	願かけ花火申込件数			単位	件
	説明・算定式					
		平成25年度	平成26年度	平成27年度		
	実績	440	492	573		
進捗状況	①：予定どおり					
	遅れている理由					
平成27年度の主な取組と成果						
8月28日(金)に14万人の観光客を迎え開催しました。観光協会や商会議所と協力し、協賛金の確保と市民参加の充実を図るため願かけ花火のPRを実施しました。協賛金は、願かけ花火が昨年を上回りましたが、一般協賛が減少したため、約10万円の減少となりました。安全対策として、警察署、消防本部、西湘イベント商業協同組合が協力して全ての露店を巡回しての点検と指導を実施しました。また、堤防内での観覧禁止を徹底しました。						
平成27年度の検証結果	A：成果があがった					

項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
事業分析	必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	湘南ひらつかの夏の風物詩として打上げ会場への来場者も多く、市民のニーズは高いと考えられます。安心・安全な開催を確保するため、市の関与が必要と考えています。	● 高 ○ 低
	有効性 <input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	夏の風物詩として花火大会を継続して開催することは、市民満足度を高めるに有効です。また、湘南地域の近隣市町と開催日を調整して花火大会を開催しているため、地域全体のイメージアップに寄与しています。	● 高 ○ 低
	妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input checked="" type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	願かけ花火や企業協賛を取り入れ、市民参加、協賛を増やし、商工会議所等と連携して花火大会を開催することは、市民の郷土愛、満足度を高めること、また受益者負担、執行体制分担の観点から妥当です。	● 高 ○ 中 ○ 低
	効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	市民参加や市民協賛(企業協賛を含)を確保するとともに、コスト面においても効率的に花火大会を開催することを進めていく必要があります。また、実施による経済効果を高める必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析 効率的な開催や経済効果のアップを図るためには、花火大会の運営主体の見直しが必要です。また、受益者負担と観覧席の警備費等経費の確保の観点から協賛をさらに進める必要があります。			

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 決算額
事業内容		花火大会の開催	花火大会の開催	花火大会の開催
財源内訳	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	起債	0	0	0
	その他 特財	0	0	0
	一般財源	7,800	8,000	8,000
事業費 (A)		7,800	8,000	8,000
執行率 (%)		100.00	100.00	100.00

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成29年度の取組方針 市民協賛である願かけ花火のさらなるPRと受益者負担を進め、協賛金の増加について積極的に取り組みます。また、関係団体との役割分担などで調整を行い、より経済的かつ効率的な開催を検討します。併せて観光名所のPRを行います。
課長コメント 引き続き、厳しい経済状況の中であるため、将来の花火大会の運営をはじめ、安全対策、協賛等について、関係者と協議を重ねていきます。